

信頼せよ、されど確認せよ

すべての人を疑う必要はありません。ひと手間を加えるだけです。

お金を動かす前に

- 1 電話番号は自分で調べる。**
相手が教えた番号は使わない。カードの裏面か明細書の番号を使う。
- 2 相手には自分からかけ直す。**
まず電話を切る。本当なら、相手はそこにいます。
- 3 一日待つ。**
本物の問題は一晩眠っても消えません。詐欺は消えます。

立ち止まるべき三つの合図

- 向こうから来た — 自分から始めたことではない。
- 気持ちが一気に動いた — 恐れ、心配、締め切り。
- 何かを渡せと言う — お金、暗証番号、またはパソコン。

絶対にありません

- × まともな相手がギフトカードで支払いを受けることはありません。
- × 銀行が「お金を銀行の外に移せ」と言うことは絶対にありません。
- × ショートメールの認証番号を口に出して伝えてはいけません。
- × 現金・金・貴重品を自宅まで受け取りに来る機関はありません。

無料の相談窓口 — 責めません

833-372-8311

877-908-3360

高齢者詐欺ホットライン・月～金 東部時間10～18時 AARP詐欺相談・月～金 東部時間8～20時

通報先：ic3.gov・reportfraud.ftc.gov・通訳あり

すでに起きてしまった場合：あなたのせいではありません。まだ間に合います。

自由に複製・印刷・共有してください。

注意：未検証の機械翻訳 — まだ印刷しないでください

AIによる翻訳で、母語話者の確認をまだ受けていません。日本語を話せる方、確認にご協力ください：translations@trustbutverifyproject.org
UNVALIDATED AI TRANSLATION — not reviewed by a native speaker. Do not distribute. Japanese speakers: please help us check it.



trustbutverifyproject.org/ja/